

市民活動養成塾とは？

市民活動養成塾は、平成30年11月に設立しました。ハンセン病をはじめとした人権問題や平和学習等について、代表の福原さんは20年以上取り組んでおられます。あわせて、NPO法人多文化共生と人権文化L.A.Sの理事としても、15年以上活動を続けてこられました。様々な活動を行う中で、若い世代につながる活動を新しく始めたいという思いがあり、市民活動養成塾として活動をスタートすることとなりました。

市民活動養成塾では、益田市及びその周辺地域の市民活動を活性化させ、担い手を育成するために、人権・文化に関する各種講座を開催しています。行政と協働で若い世代の方と共に活動を推進することを目的として日々活動を行っています。

市民活動養成塾のイチオシ事業 ～毎月開催！勉強会＆パネル展示～

市民活動養成塾では、毎月少人数での勉強会を開催しています。長年、人権問題や民族問題などについて取り組んできた中で学んできたことを皆さんにお伝えし、一緒に考え学び合う場を提供しています。下記のテーマについて、映像視聴や当時の資料を用いて勉強します。

場 所：益田市人権センターなど

テーマ：ハンセン病問題、アイヌ民族の文化、多文化交流など

資料代：500円



◇パネル展示◇

毎年、人権問題や平和に関するパネル展示を行っています。人権センターや市役所ロビー、産業祭などでパネルを設置し展示することで、広く市民の皆さんにお知らせしています。



◇イチオシ理由および活動への思い◇

人権問題とは、私たちの生活でいう水と空気のようになくてはならないものだと思っています。長年活動してきた中で、人権問題を扱うというと敬遠されることが多いです。しかし、それではいけないだと、好きや嫌いではなく、忘れないためにも、ずっと訴え続けていかなければならない、学び続けなければいけない。そういった思いで活動を行っています。

市民活動養成塾は、市民の皆さんに活動の意義を学んでいただきながら、市民活動に積極的に関わってもらおう人材を育てる「学び合いの場」としてこれからも活動を続けていきます。

取組み紹介

ハンセン病療養所への訪問

市民活動養成塾では、ハンセン病問題の正しい理解を広めていく研修として、熊本県の国立療養所 菊池恵楓園、岡山県の国立療養所 邑久光明園・長島愛生園への訪問を長年継続しています。

時の流れとともにハンセン病問題に対する関心も薄れ、啓発機会も少なくなってきた中で、実際に現地を訪れて入所者の方のお話を聞くという経験を通して、ハンセン病に関する認識を深めています。ここで学んだことは、持ち帰って勉強会等で市民の方に伝えていきます。

多文化交流

多文化理解を深める活動として、市内やその周辺地域在住の外国の方をゲストに招き交流をしています。過去には、ロシア・ベトナムの方との交流会を開催しました。その国の異なる文化（言葉や生活、歴史）に触れることで、新たな発見や学びが見つかります。



地域での活動

公民館に出向いて、白菜のキムチ漬けやチヂミ作りなどの料理教室を開催しています。レシピは韓国の方に教えていただいたため、本場の味を楽しむことができます。

市民活動養成塾の今後の目標！

高校生などのこれからを担う若い世代に活動をつなげていく。

◇記事を見た方へ◇

市民活動養成塾は、平成30年11月よりスタートした団体です。ハンセン病療養所への訪問研修、市内に眠る在日コリアンの墓地の歴史探訪、ベトナムやロシアの方との交流、益田市に縁ある林力先生の新聞記事を朗読・学習等が主な活動です。公民館や学校にはご案内を出しています。関心のある方は、市民活動養成塾までご連絡ください。



【問い合わせ先】

市民活動養成塾 代表 福原孝浩
事務所：益田市遠田町 1451-1
TEL/FAX：0856-27-2282